

鹿児島県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 10 名

立候補者数 : 9 名



氏名 平名 章二

都道府県士会 鹿児島県

年齢 48

勤務先名称 豊島病院



氏名 生駒 成亨

都道府県士会 鹿児島県

年齢 45

勤務先名称 米盛病院

協会・士会役員歴

<協会>
 平成4年 : (社)日本理学療法士協会入会
 平成12年度 : 第35回日本理学療法士学会 企画係長
 平成22年～現在 : (公社)日本理学療法士協会代議員
 平成24年度 : 第47回日本理学療法士協会全国学術研修大会 準備委員

<士会>
 平成4年 : (社)日本理学療法士協会・鹿児島県士会入会
 平成13年～平成22年 : (社)鹿児島県理学療法士会 理事
 平成17年～平成22年 : (社)鹿児島県理学療法士会 副会長
 平成22年～現在 : (公社)鹿児島県理学療法士協会 理事(副会長)

立候補の趣旨

立候補にあたり所感を述べさせていただきます。
 我々理学療法士を取り巻く環境はますます厳しさを増し、若き会員が戸惑い・不安を感じつつも県民に安心安全な医療を提供する義務を果たそうと必死だと思えます。
 そんな日々の中で私は、若き会員たちが学術活動や協会活動の運営に積極的に関わる情熱・姿を見て、その情熱を県民に還元し続けることは我々理学療法士の使命であると思ってきました。
 このような思いを志とし今期も会員の先生方一人一人のご意見に謙虚に耳を傾け、代議員として協会の運営の一翼を担いたいと思えます。よろしくをお願いします。

協会・士会役員歴

平成19年4月～平成23年3月 鹿児島県理学療法士協会 鹿児島ブロック部長
 平成23年4月～平成25年3月 鹿児島県理学療法士協会 鹿児島地区担当理事
 平成24年10月 第47回日本理学療法士協会全国学術研修大会 運営局次長
 平成25年4月～平成29年3月 鹿児島県理学療法士協会 生涯学習担当理事
 平成26年2月 第27回鹿児島県理学療法士学会 学会長
 平成26年4月～現在 日本理学療法士協会 代議員(鹿児島県選出)
 平成29年4月～現在 鹿児島県理学療法士協会 学術局長兼生涯学習担当理事

立候補の趣旨

平成25年度より鹿児島県の生涯学習担当理事として活動させて頂いている中で、特に平成33年度に開始予定の新しい生涯学習システムの導入に際して、日本理学療法士協会と鹿児島県理学療法士協会の連携、旧システムと新システムの連続性の構築を行い、新しい生涯学習システムが会員の皆様にとって有意義なものとなるよう尽力したく、立候補いたしますので、よろしくをお願いします。



氏名 赤崎 昭朗

都道府県士会 鹿児島県

年齢 55

勤務先名称 (公社)鹿児島県理学療法士協会

協会・士会役員歴

昭和61年 鹿児島県理学療法士会 教育部長
 昭和62年 鹿児島県理学療法士会 渉外副部長
 昭和63年～11年 鹿児島県理学療法士会 事務局長
 平成11年～22年 (社)鹿児島県理学療法士会 事務局長
 平成13年～ 日本理学療法士協会九州ブロック会 事務局長
 平成21年～ (社)日本理学療法士協会 代議員
 平成22年～28年 (公社)鹿児島県理学療法士協会 事務局長
 平成28年～ (公社)鹿児島県理学療法士協会 事務局長
 平成24年～ (公社)日本理学療法士協会 代議員

平成12年度 第35回日本理学療法学会 渉外部長
 平成19年度 第29回九州理学療法士作業療法士合同学会 準備委員長
 平成24年度 第47回日本理学療法士協会全国研修大会 事務局長

立候補の趣旨

本会の会員数は増加傾向にありますが組織としてはまだまだ発展途上にあると言えます。理学療法士の質の向上と職域の確保は最重要課題であるとともに現在協会として取り組んでいる組織としての渉外能力や政治力も必要不可欠です。これらの改善を目標に協会は組織改革を行っていますが、この改革を達成するためには都道府県士会との連携と情報の共有はより一層必要となります。その橋渡し役として会員への情報配信と協会への情報伝達を密にし、協会と各県理学療法士会との連携をなお一層強めることにより組織力を高めていきたいと思っています。また同様に魅力ある組織を担う次の世代の人材育成にも力を注ぎたいと思います。



氏名 大重 匡

都道府県士会 鹿児島県

年齢 57

勤務先名称 鹿児島大学医学部

協会・士会役員歴

鹿児島県理学療法士協会では平成3年～19年まで教育部理事、平成19年～現在まで学術部理事に勤めており、合計で27年間、鹿児島県理学療法士協会の理事を勤めております。日本理学療法士協会では、研修部部員を平成19年～25年、企画研修委員会委員を平成25年～27年まで勤めました。

立候補の趣旨

私は、豊かな人間性を持ち、患者を身体的のみならず精神的、社会的、職業的にサポートできる人材、そして社会の変化に対応できる問題解決能力を持ち他職間の協働ができる人材の育成に努めております。協会の活動では、鹿児島県および九州、そして全国の理学療法士に対して、出来るだけ安価な学術的および基本的な研修を企画し、教授して参りました。今後も、多くの理学療法士に役立つ研修を企画し、さらに全国で安価で役立つ研修会が容易に開催できるように代議員として尽力していきたいと思っています。また、学生の臨床実習教育について、鹿児島県独自の臨床実習指導要領作成に従事しております。臨床実習指導要領作成では、臨床実習施設と鹿児島県内の専門学校と連携し、現在まで14回の検討会に参加し、充実した臨床実習指導要領になるよう努めております。つきましては、臨床実習教育についても、代議員として意見を述べて、議決に参加し、よりよい臨床実習教育が行えるように努めていきたいと思っています。



氏名 坂本 一路

都道府県士会 鹿児島県

年齢 60

勤務先名称 ひまわり病院



氏名 村山 芳博

都道府県士会 鹿児島県

年齢 56

勤務先名称 今村総合病院

協会・士会役員歴

平成11年～現在；鹿児島県理学療法士協会理事
平成29年～現在；鹿児島県理学療法士協会副会長
平成22年～現在；日本理学療法士協会代議員
平成24年；第47回日本理学療法士会全国研修大会企画局長

協会・士会役員歴

昭和61年度～ 鹿児島県理学療法士会 調査部長
昭和62年度～平成5年度 鹿児島県理学療法士会 広報部長
平成6年度～平成16年度 鹿児島県理学療法士会 広報担当理事
平成17年度～平成28年度 (公社)鹿児島県理学療法士協会 副会長
平成29年度～ (公社)鹿児島県理学療法士協会 監事
平成7年度～ (公社)日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

県士会理事、代議員を拝命し、研修会をはじめ、全国学会・全国研修大会などの会員の協力の基で運営に携わり、意見を聞き情報収集をして協会に反映することが基本と考え活動してきました。
今日、本部協会・県協会とも今後の方向性を模索しながらの変革の時代と考えます。それに対して我々を取り巻く状況も変革にあり、理学療法士が「必要とされる職種」であるかが問われているとも思います。
国民が安心して生活ができる社会の構築の一端を担える職種として個人・団体として挑戦し確立する為、会員と協会のパイプ役の代議員として活動したいと思っておりますので、よろしく願います。

立候補の趣旨

私、平成29年度より(公社)鹿児島県理学療法士協会監事を拝命致しました。今まで副会長として執行部に在籍させて頂きましたが、今回から、協会の活動自体を少し離れた位置から監督していく立場となりました。会員の方々と、鹿児島県民の為の協会運営を進めて参ります。
また今回、引き続き日本理学療法士協会代議員立候補を決意致しました。
毎年1万人以上が理学療法士となり、数だけは他職種に負けない伸びですが、我々が生き残るには、プロとして目の前の方々への治療力(学術・臨床力)と、自分たちの生活と専門性を守る力(職能力)、そして様々な情報を持って必要時に変化できる力(対応力)が重要です。代議員として様々な情報を基に、会員のやりがいに繋がる活動ができるよう動いていきます。
現在、私は鹿児島県理学療法士連盟活動も行っておりますが、協会と連盟、それぞれが“両輪の輪”として推進し、これからの「地域包括ケア」を考え、私達の専門性を活かせる活動をしたいと考えます。これから益々、対外的な活動も増え確かに大変ですが、自分達の力をアピールするチャンスでもあります。
皆様のご支援を宜しくお願い致します。



氏名 内苑 大樹

都道府県士会 鹿児島県

年齢 33

勤務先名称 国立療養所星塚敬愛園



氏名 山中 純

都道府県士会 鹿児島県

年齢 38

勤務先名称 菊野病院

協会・士会役員歴

日本理学療法士協会 代議員
日本理学療法士協会 査読委員
鹿児島県理学療法士協会 理事
第47回日本理学療法士協会 全国学術研修大会 学術誌部 副部長

協会・士会役員歴

平成27年度～現在 鹿児島県理学療法士協会 理事
平成28年度～現在 日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

平成30年診療報酬改定を見ますと、理学療法士の存在意義を問われる厳しい改定となりました。このままいくと、理学療法士として生涯働くことが困難になる可能性があります。臨床の場に目を移しますと、理学療法士がいることで多くの患者様の機能回復に繋がっているデータも数多くあります。
「なぜ結果を出しているのに、厳しい改定なのか？」

理学療法臨床データを日本理学療法士協会はじめ、厚生労働省、関連団体に伝え、示す必要があります。
私は2期（4年）に渡り代議員を務め日本理学療法士協会に臨床成果を伝え、また厚生労働省施設に勤務しているため、関連学会などでも 理学療法士の重要性を伝えて参りました。
しかしまだまだ伝えなければなりません。今回も代議員として引き続き、頑張らせていただきたく立候補させていただきました。
何卒、御理解・御支援の程、宜しくお願い致します。

立候補の趣旨

近年、高齢化とそれに伴う医療保険制度を始めとして、理学療法士を取り囲む環境は大きく変化し、より多方面で質の高い理学療法が求められています。
この転換期に必要なものは会員の多くを占める若い理学療法士の力です。
活動を通して、社会に求められる理学療法を将来的に見据え、その実現に向かって若い療法士一人一人が理学療法とは何かを考え行動していくことが、私たちの生活を守り、職を守ることに繋がると考えます。
鹿児島県理学療法士会では、地区担当理事として活動させていただいていますが、日本理学療法士協会の指針を考慮した県士会活動を行うことで、全国協会と県士会のより良い相互作用を生むことが出来ると思います。
まだまだ理学療法士として未熟ではありますが、私が代議員とし協会活動に関わらせていただくことで、同年代や若い会員の皆様に、日本理学療法士協会を身近な存在として捉えて頂き、また声を届けることが出来るようになるものと考えています。



氏名 弥栄 博文

都道府県士会 鹿児島県

年齢 60

勤務先名称 ザ王病院

協会・士会役員歴

鹿児島県理学療法士協会 公益事業担当理事
鹿児島県理学療法士協会 社会局長兼始良・大隅地域担当理事（2017～）

立候補の趣旨

これまでとして県士会活動に関与してまいりました。
本年度より、社会局長に任命されました。これまで以上に鹿児島県理学療法士協会員の声を代表の一人として中央に届けられるように、代議員に立候補いたしました。
どうぞよろしく願いたします。